

沖縄県立看護大学紀要投稿規程（2007. 3改訂）

1. 投稿者の資格

紀要投稿者は、本学の教職員（旧教職員を含む）、非常勤講師、大学院生・研究生及び紀要編集委員会（以下、委員会）が執筆を依頼した者とする。筆頭著者は原則として投稿資格を有する者とする。投稿資格を有する者は学外の研究者を連名投稿者にすることができる。

2. 投稿の種類

原稿の種類は論壇、総説、原著、報告、研究ノート、資料、その他であり、未公刊のものに限る。また著者は原稿にその何れかを明記しなければならない。なお、投稿原稿は返却しない。

3. 原稿の採否

原稿の採否は委員会により決定する。原稿は委員会委員ならびに委員会が委任した者が査読し、内容の加除、訂正を求められることがある。また倫理上問題があると委員会が判断した原稿は受理しない。

4. 校正

投稿者による校正は再校までとし、校正に際して原文の変更あるいは追加は認めない。

5. 原稿作成上の留意点

1) 原稿は和文または英文とする。原稿（本文、図、表、写真などを含む）は正1部、副（コピー）2部と、原稿を保存した3.5インチフロッピーディスク（保存形式を明記）を添付して提出する。

2) 原稿はA4版にて和文40字（全角）×30行、英文80字（半角）×30行を1ページとする。和文の場合であっても、英数字、度量衡の単位、外国人名はすべて半角（1バイト、ASCコード）に統一する。例えば、 m^2 、kgなど機種に依存する特殊記号は使用しない。また、カタカナは必ず全角文字（2バイト）とし、半角文字（1バイト）では表記しない。すなわち、「ナース」ではなく「ナース」である。イタリック体ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

3) 投稿論文の種類（制限枚数：図表1つをA4、0.5頁と数える）

論壇 Sounding Board（2頁）：本学の教育、保健看護領域に関わる話題のうち、議論が交わされつつある

ものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言

総説 Review Article（20頁）：とりあげた主題について、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこれまでの動向、進歩を示し、今後の方向を展望したもの。

原著 Original Article（20頁）：テーマが明瞭で独創性に富み、新しい知見や理解が倫理的に示されているもの。研究論文として形式が整い、研究としての意義が認められているもの。

報告 Report（10頁）には次のものが含まれる。

(1) 調査報告：調査・実験などで得られたデータをまとめ、本学の教育、保健看護領域の発展に寄与するもの。

(2) 事例報告：事例を用いた分析が保健看護領域の展開に寄与するもの。

(3) 実践報告：保健看護領域の臨床、ないし教育に関する手技・技術や実践の方法に関するもの。

研究ノート Research Note（10頁）：萌芽的研究、追試的研究、研究情報（文献レビューもこれに含める）など。

資料 Sources/Information（10頁）：調査・実践などで得られたデータや資料そのものに利用価値をもち、とくに仮説検定の意図をもたずに示したもの。

その他 Other（10頁）：上記のカテゴリーに分類することが難しいが、委員会により掲載が妥当と認められたもの。

4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1などの番号で区別し、本文とは別に一括する。

5) 文献の記載

本文中の引用順に番号を付し、本文の引用箇所の右肩に1)、1~4) など上付1/4サイズの文字で番号を示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に列記する。

雑誌の引用の場合

著者名（著者は全員を列挙する）：表題、雑誌名、巻（号）：頁-頁、西暦年次。

<例>

1) 天野洋子、上田礼子、桜井あや子、安里葉子：中学生の対処行動に関する研究 - 悩みや困ったことのある場合 - 。沖縄県立看護大学紀要，1（1）：1-8，

2000

2) Imai S, Nakazawa M and Toyosato A : Effects of Rp-8-Br-cGMPs, a selective inhibitor of activation of cyclic GMP-dependent protein kinases by cyclic GMP, on relation of the rat aortic smooth muscle induced by nitroglycerin and nitroprusside. Journal of Okinawa Prefectural College of Nursing, 1 (1) :23-27, 2000

単行本を引用する場合

著者名：書名（版），頁-頁，出版地，出版社（発行所），西暦年次。

<例>

3) 上田礼子：ライフサイクルと保健活動の実践
周産期・乳児期・小児期 . pp184-186, 東京, 出版科学研究所, 1985 .

4) Pope C and Mays N eds.: Qualitative research in health care (2nd) . 59-74, London, BMJ books, 2000.

分担執筆の本の分担箇所を引用する場合

分担著者名：分担箇所のタイトル、編集者名：書籍のタイトル、出版地，出版社，引用した頁，出版年 .

<例>

5) Sedwick RP, Boder E: Ataxia-telangiectasia.
In: Vinken PJ, Bruyn GW (eds) : Handbook of clinical neurology, vol 14. Amsterdam, North-Holland, 267-339, 1972.

訳本を引用する場合

原著者名：書名（版）、発行年次，訳者名：書名 . 頁，発行所，西暦年次。

<例>

6) Bailar JC , Mosteller F eds.: Medical uses of statistics. 1986. 津谷喜一郎、折笠秀樹監訳：医学統計学の活用 . 125-141, サイエントリスト社, 1995.

上記のいずれにも該当しない引用文献の記載方法については紀要編集委員会が協議し書式を決定する。

沖縄県立看護大学紀要の英文の略称は「J of OPC N」とする。英文による沖縄県立看護大学紀要を引用の際にはこの略称を使用のこと。

6) 原著論文の本文構成は、はじめに (Introduction)、研究方法 (Materials and Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、結論 (Conclusion)、

謝辞 (Acknowledgment)、文献 (References) とする。

また あるいは で段階的に段落を記述する場合、段落番号は、1 . 2 . 3 とし、1 . をさらに細分する場合は 1) 2) 3) . . . とする。

7) 投稿原稿の中総説・原著・報告には英文 (300語程度) および和文 (600字程度) 抄録を付ける。抄録は表題、著者名、所属、キーワード (5個以内)、抄録本文とする。抄録本文 (Abstract) は背景 (Background)、目的 (Objective)、研究デザイン (Design)、対象 (Subjects)、結果 (Results)、結論 (Conclusion) などがわかるように簡潔にまとめる。資料については英文・和文抄録は任意とし、論壇・研究ノートは、英文・和文タイトルおよびキーワードのみとする。

8) 英文抄録は次の要領でまとめること。

(1) 英語のタイトルは次のように記述すること。

<例>

Nursing Education for Health Development and The Japan International Cooperation Agency (JICA)

(2) 著者の記述は以下の通り。

<例>

Yuko MIYAGI, R.N., Koichi MIYAGI, M.D., Dr. Med. Sci.

(3) Key Words は、固有名詞以外は小文字で記述する。

<例>

enterogenous cyst, spinal cyst, electron microscopy, magnetic resonance imaging, carcinoembryonic antigen.

9) 掲載論文の条件

人および動物を研究対象とする場合は、研究対象に対する倫理的配慮がなされ、そのことを論文中に明記すること。

10) 著作権

著作権は沖縄県立看護大学に帰属し、掲載後は本学の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。また、本学紀要編集委員会が用意する著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名して、最終原稿提出時に添付すること。なお、投稿論文は電子情報開示されることを了解の上寄稿することを条件とする。

6 . 諸経費およびその他の必要事項は別途定める。

編 集 後 記

沖縄県立看護大学紀要第8号をお手元にお届けします。

第7号に比べ、投稿論文が増えたことは喜ばしい限りです。

ところで、「大学の紀要」とは何でしょうか。「紀要」とは、「大学や研究所などから出す研究論文を収載した定期刊行物」と定義されています(小学館：日本国語大辞典第二版，4巻，p392，2006)。この定義の中には、その質についての言及はありませんが、研究論文の基準は一つであることは言うまでもありません。本学においても投稿論文の質を維持するために投稿規定や査読制度を設け、それに沿った編集方針で作業を進めてきました。地域の人々やその他多くの方々に本学の教員の研究活動の一端を公開し、大学の理解を深めていただく良い機会として紀要が活用されるよう、一層の努力が必要であることを痛感しております。皆様のご協力とご理解をお願いする次第です。そして、2007年の紀要は更に質量共に充実したものになることを期待してやみません。

平成19年3月

紀要編集委員会

委員長 栗栖 瑛子

紀要編集委員会

委員長 栗 栖 瑛 子

副編集長 安谷屋 均

宮 地 文 子

石 橋 朝 紀 子

金 城 芳 秀

クレイグ・ウィルコックス

仲宗根 洋 子

呉 地 祥 友 里

宮 城 裕 子

学務課 下 地 美 登 子

沖縄県立看護大学紀要第8号

発行日 平成19年3月
発行者 沖縄県立看護大学
〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1-24-1
Tel: 098-833-8800
Fax: 098-833-5133
印刷所 株式会社 東洋企画印刷
〒900-0024 那覇市古波蔵4-1-1
Tel: 098-831-7404